



2021年4月16日
中部電力パワーグリッド株式会社

2021年度 引込線および内線工事請負契約の工量単価について

記

日頃は、弊社事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、電力事業にご理解いただき、日夜、安定供給のためにご尽力くださり、重ねてお礼申し上げます。

まず、弊社を含めた連結の収支見通しですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより状況は厳しく、2016年以来4年ぶりの減収減益となる見通しであり、パワーグリッド単体においても、第3四半期決算においては、新型コロナウイルス感染症の影響によるエリア需要の減少などから、前年同期に比べ減益となっております。

さて、弊社は、2020年4月1日より送配電事業を担う中部電力パワーグリッド株式会社として中部電力株式会社から分社し、1年が経過しました。弊社は『「信頼」「期待」に応え、地域・社会の発展を支える』という理念のもと、地域に寄り添い、共に発展することを目指しております。

そのため、多様化する地域課題・ニーズを早期に捉え、その地域に応じた打ち手により課題を解決していく必要があります。地域との繋がりがより密接である中部電気工事協会連合会の皆さまのお力添えを是非ともお願いしたく、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

一方、外部環境変化としましては、2023年の託送制度改革に加え、脱炭素化に向けた制度・ルール変更が予見されるため、先を見据えた対応が必要となっております。特に、託送制度改革における料金審査では、外部識者による効率化に対する評価もこれまで以上に厳しくなっていくことが予想され、弊社および本契約を取り巻く環境は今後も厳しさが増すものと想定しております。

以上の現状および本契約の取り巻く状況を総合的に勘案するとともに、日頃の皆さまのご尽力に報いるべく、2021年度の工量単価につきましては、以下のとおりとさせていただきます。

○2021年度工量単価

300.0円/工量（2020年度単価比0.7%のアップ）

以上